

令和6年度 八富成田斎場管理運営連絡協議会会議概要

1. 開催日時

令和7年1月31日(金) 午後2時00分～午後2時25分

2. 開催場所

成田市花崎町760番地 成田市役所6階中会議室

3. 出席者

(委員)

小泉会長(成田市長)、

北村副会長(八街市長)、五十嵐副会長(富里市長)、関根副会長(成田市副市長)

石渡委員、伊藤委員…(成田市議会選出)

丸山委員、林委員…(八街市議会選出)

田口委員、河田委員…(富里市議会選出)

(事務局)

成田市 岩沢環境部長、環境衛生課:野口課長、木村主幹、笠井主査

八街市 和田経済環境部長、環境課:小山田課長、十川係長

富里市 細野経済環境部長、環境課:藤田課長、小島主査

4. 議題

1 令和6年度八富成田斎場維持管理費決算(見込)について

2 令和7年度八富成田斎場維持管理費当初予算(案)について

3 その他

5. 議事

それでは、議題(1)令和6年度 八富成田斎場維持管理費決算(見込)について、ご説明いたします。資料の1ページをご覧ください。

初めに、歳入についてご説明いたします。表の下段に記載の歳入合計ですが、予算現額 2億 2,812万 8,000円に對しまして、収入見込額 1億 8,525万 9,000円で、予算との比較で 4,286万 9,000円の減額となります。

内訳といたしまして、まず、負担金ですが、予算現額 1億 8,305万 4,000円に對しま

して、収入見込額 1 億 4,459 万 2,000 円となり、3,846 万 2,000 円の減額となります。

本斎場の管理運営に係る経費は、斎場事務の委託に関する規約により、成田市の歳入歳出予算に計上し、予算執行を行っております。また、同規約により、各年度において、その委託事務の管理及び執行に係る予算に残額のある場合においては、これを翌年度における委託事務の管理及び執行に要する経費として繰越して使用するものとしております。備考欄に記載のとおり、令和5年度決算に基づく予算残額がありましたので、これを令和6年度に繰越して使用することにより、各市の負担金も減額となります。

なお、令和5年度の予算残額の理由といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により一時減少していた式場等の使用件数が、令和5年度には回復してきたことによる使用料収入の増加、また、光熱水費のうち電気・ガス料金が、国による価格激変緩和対策により軽減されたことや、通夜と告別式を一日で行う葬儀が増えたことで、通常の通夜業務の件数に応じて支払う指定管理料が減額となったことなどによるものです。

次に、斎場使用料等ですが、予算現額 4,507 万 4,000 円に対し、収入見込額 4,066 万 7,000 円となり、440 万 7,000 円の減額となります。こちらは、式場の使用件数などが昨年度と比較して若干減少傾向となっていることによるものです。

次に、2ページをご覧ください。歳出になりまして、表の下段に記載の歳出合計ですが、当初予算額 2 億 2,812 万 8,000 円に、6,120 万 5,000 円の流用等を行ったことにより、予算現額 2 億 8,933 万 3,000 円となりまして、これに対し支出見込額 2 億 5,922 万 2,000 円で、不用見込額は 3,011 万 1,000 円となります。

内訳といたしまして、まず、報酬ですが、市議会選出の委員7名の報酬で、予算現額 5 万 4,000 円と同額の執行見込となっております。

次に、需用費ですが、消耗品費において 26 万 7,000 円の予算流用がありますが、火葬炉で使用する現場用消耗品や、電球など施設管理用消耗品の購入により予算額が不足するため、委託料から流用したものです。これにより、予算現額が 7,051 万 1,000 円となりまして、支出見込額が 6,319 万 6,000 円で、不用見込額は 731 万 5,000 円となります。

不用見込額の理由といたしましては、国による電気・ガス価格激変緩和対策事業などの

支援により、電気・ガスの単価が軽減され、光熱水費の支出額が抑えられたことによるものです。

修繕料につきましては予算額どおりの執行見込でありまして、毎年行っている火葬炉修繕では、今年度は主燃焼室・再燃焼室・三次燃焼室の耐火材劣化による貼り替えを行うほか、4号炉から6号炉の耐火台車を交換いたします。

次に、役務費は、予算額 132 万 4,000 円で、電話料、インターネット使用料や検査手数料、保険料などであり、予算額どおりの執行見込となっております。

次に、委託料ですが、令和5年度に予定していた受変電設備改修工事監理委託の支払いがなかったため 550 万円を繰越しており、補正・流用等の欄に計上しております。

このほか、消耗品費と備品購入費に予算を流用しており、補正・流用等の額としては 521 万円となっております。これにより、予算現額が 1 億 3,651 万 4,000 円となりまして、支出見込額が 1 億 3,349 万円で、不用見込額は 302 万 4,000 円となります。

不用見込額の理由といたしましては、指定管理料の通夜業務分の減額と、機器保守管理委託の落札差額によるものです。

次に、使用料及び賃借料ですが、予算現額 160 万 7,000 円に対し、支出見込額 160 万 2,000 円で、5,000 円の不用見込額となっており、若干の差額はありますが、概ね予算額どおりの執行見込となっております。

次に、工事請負費では、先程の委託料でも触れましたが、受変電設備改修工事の支払いがなかった部分として 5,570 万 5,000 円を繰越しているため、補正・流用等の欄に計上しております。これにより、予算現額が 7,930 万円となりまして、支出見込額が 5,953 万 3,000 円で、不用見込額は 1,976 万 7,000 円となります。

不用見込額は、受変電設備改修工事の落札差額によるものでございます。

次に、備品購入費では、当初予算に計上できなかったところ、2 万 3,000 円を流用し予算計上しておりますが、これは待合室で使用している掃除機の故障による買い替えが必要となったことによるものです。

以上、議題(1)令和6年度八富成田斎場維持管理費決算(見込)についての説明とさせていただきます。

議題1に関する質問は以下のとおり。

(○意見や質問、◆意見や質問に関する回答)

○丸山委員 消耗品費と備品購入費について委託料から流用したとのことだが、当初想定していない歳出があることを考えたら、予算に予備費を計上したほうが良いのではないか。

◆事務局 八富成田斎場維持管理費予算については、成田市の予算の項目に合わせているため、予備費の計上はしていません。

一議題1は承認された。

それでは、令和7年度 八富成田斎場維持管理費当初予算案についてご説明いたします。
3ページをご覧ください。

はじめに、歳入であります。令和7年度当初予算額合計が2億78万7,000円で、令和6年度当初予算と比較しまして、2,734万1,000円の減額となっております。

歳入予算のうち、斎場使用料等についてであります。斎場使用料等全体で4,301万8,000円を見込み、前年度と比較して205万6,000円の減額となります。説明欄にそれぞれの見込み件数を記載しておりますが、前年度実績の件数及び平均使用料金から予算を計上しております。

減額の理由といたしましては、式場の使用件数などが、令和5年度と比較しますと令和6年度は若干減少傾向となっていることによるものです。

次に、負担金についてであります。資料中段の太字で、負担金と記載しました四角の中をご覧ください。令和7年度歳出予算案の総額、2億78万7,000円から、令和7年度歳入予算案のうち負担金以外の歳入である斎場使用料等の額、4,301万8,000円を差し引いた、1億5,776万9,000円が3市の負担金の合計となります。

負担割合につきましては、均等割20%、人口割20%及び火葬件数の利用割60%となっており、各市の人口と火葬件数から割合を算出し、右下の表のとおり各市負担金を計上しております。負担金の合計額は、成田市が7,383万6,944円、八街市が4,780万5,059円、富里市が3,612万6,997円となります。

資料上段の表に戻りまして、負担金の前年度との比較では、3市合計で2,528万5,000円の減額となります。こちらは、令和6年度は受変電設備改修工事の費用を計

上していたところ、令和7年度につきましては金額の大きな改修を予定していないため、予算規模が縮小したことによるものです。

次に、4ページをご覧ください。令和7年度歳出予算案ですが、予算総額及び前年との比較増減は、歳入予算案と同額でございます。

予算の内訳ですが、まず、報酬は市議会選出の委員7名分の報酬として5万4,000円で、前年度と同額となります。

次に、需用費ですが、6,756万6,000円で、前年度と比較し267万8,000円の減額となります。減額の理由は、決算額ベースで予算を計上する中で、光熱水費の令和5年度決算額、令和6年度決算見込み額が低く抑えられたことによるものです。

次に、役務費ですが、133万9,000円で、前年度と比較し1万5,000円の増額となります。こちらでは来年度よりキャッシュレス決済を導入するにあたり、決済時の手数料を新たに計上しております。

次に、委託料ですが、1億3,009万2,000円で、前年度と比較し、121万2,000円の減額となります。こちらは主に受変電設備改修工事が令和6年度で完了したことより、工事監理委託の計上が不要となったほか、指定管理料の通夜業務を令和6年度決算見込み額ベースで算出したところ、減額となったことによるものです。

次に、使用料及び賃借料ですが、173万6,000円で、前年度と比較し、12万9,000円の増額となっております。こちらはキャッシュレス決済用端末の借上料を新たに計上したことによる増額です。

次に工事請負費ですが、予算計上なしで、こちらは、受変電設備改修工事が令和6年度で完了したことによるものです。

以上、簡単ではございますが、議題(2)令和7年度八富成田斎場維持管理費当初予算(案)についての説明とさせていただきます。

議題2に関する質問は以下のとおり。

(○意見や質問、◆意見や質問に関する回答)

○伊藤委員 斎場トイレの洋式化については、どうなっているか。

◆事務局 待合室側のトイレが男性用は洋式が1和式が1、女性用は洋式が3となっております。式場側のトイレが男性用は洋式が1、女性用は和式が2となっております。平成

27 年度に洋式化工事を行ったのですが、構造上の問題などから式場側トイレに和式が残ってしまったと思われます。

○伊藤委員 引き続き計画的に洋式化を進めていていただきたい。

議題2は承認された。

6. その他

・市議会選出委員の任期満了に伴う事務手続きについて事務局から説明を行った。

7. 傍聴

0人